

令和5年度

学年	教科	教材
2年	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） ・副教材 技術・家庭ノート 家庭分野（正進社） ・基礎ぬい ・刺し子コースター ・ファミリーポケット

1. 学習の目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

2. 学習の方法

- ・自分の生活や身の回りのことに関心を持つ
- ・家庭ノートやワークシートを用い学習内容を整理しよう。
- ・学習を通して、生活に役立つ基礎的・基本的な技能を身につけよう。
- ・学習したことを自分の生活に当てはめ、より良くする方法を考えよう。また学んだことを実践しよう。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	提出物（ワークシート・ファイル・家庭ノート）・ 定期考査・ 実技テスト
思考・判断・表現	実習・作品・レポート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み（作品・実技テスト・定期テスト）・提出物（ワークシートなど）

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	・技術・家庭科で身につける力について	
	私たちの衣生活 1、日常着の活用 ・衣服のはたらき ・自分らしく目的に合わせた着方 ・衣服の活用と選び方	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きを考える ・目的に応じた着方を工夫する ・個性を生かした着方考える ・衣服の計画的な活用について考える ・既制服の表示の種類と意味を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を振り返り、衣生活の学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・衣服の社会生活上の働きを説明できる。 ・目的に応じて衣服を着用することができる。 ・TPOを踏まえながら、個性を生かした着方を工夫することができる。 ・衣服計画を立てることができる。 ・着ていない衣服の活用方法を考えることができる。 ・既制服を選ぶポイント・表示の読み取りを知り、衣服を選ぶことができる。
5			
6			
7	2、日常着の手入れ ・布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れの必要性を理解する ・実用的な被服製作を通じて材料や用具の名称や、正しい扱い方を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れの必要性がわかる。 ・衣服の材料や状態に応じて適切な手入れができる。
9			<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯機での洗濯方法と洗剤の種類や特徴がわかる ・衣服の材料や汚れの状態に応じて適切な洗濯をすることができる。 ・繊維の種類やアイロンの温度を理解してアイロンかけができる。

10	わたしたちの住生活 住まいの役割と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と住まい方を考えよう ・住まいの安全について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と家族の関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。
11			
12			
1		<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた住まい方について考えよう ・健康で快適な室内環境を工夫しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の住まいと住まい方の特徴がわかる ・住まい中の危険な場所について、事故防止の対策を考えることができる。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい住生活を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた住まい方の工夫ができる。 ・健康で心地よく住むための室内条件をまとめることができる。
3			<ul style="list-style-type: none"> ・学習を生かし自分や家族にとって心地よい住まい方の工夫を考えることができる。